

行政視察報告書

令和6年 5月31日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 千 田 貞 之

私が参加した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察先 ①長野県伊那市議会 ②長野県駒ヶ根市議会
2. 視察日時 令和 6 年 5 月 2 0 日 (月) ～ 5 月 2 1 日 (火)
3. 視察及び目的 ①伊那市議会 議会改革の取組について
②駒ヶ根市議会 議会改革・議会機能向上推進委員会の
取り組みについて
4. 調査内容感想について等

・研修の目的

① 伊那市議会における議会改革の取組について、議会が、毎年、伊那市中学生のキャリアフェスへ参加、高校生の議会傍聴をきっかけに議会への関心を深めてもらい、議会との距離を縮めてもらい、積極的な参画を促す手法を学ぶ。

② 駒ヶ根市議会において「議会機能向上推進委員会」の役割、事業評価の取り組みの実態を学ぶ。

・研修の内容

①伊那市議会では、議会議員選挙で無投票の経験から、令和元年に市主催の中学生キャリアフェスに議会として参画し、更に高校生にも探求の時間を利用して議会傍聴で、議会を知ってもらう取り組みをされた。

長 浜 市 議 会

その後、議会改革特別委員会を立ち上げ、請願、陳情の審査方法の見直し、予算決算審査の見直し、基本条例の見直しなどを進め、市民参加の機会増強を図り「政策サポーター」導入、議会機能の強化に取り組まれました。

議員間討議をはじめ、積極的に高校生との意見交換、探求学習による取り組み発表後、グループ懇談など行い、ワークショップなど参加者は延べ60人の意見を聴取している。更にオンライン委員会の開催に向けた要綱整備など積極的に行われています。

何より、その後高校生からの子育てに関する請願が出されたことが議会改革の証明になっている。

②駒ヶ根市議会では「議会改革・議会機能向上推進委員会の取り組みについて」研修をしました、具体的には、議会のICT化、昨年より「わくわく未来部会」ということで主権者教育の推進を進められている。

事業評価については、4段階に分け、達成、一部達成、未達成、未着手の簡単なシートを作成し行われている。課題解決に向け議員間討議もあり、クールダウンミーティングと称し、全員で共通認識を持つことを趣旨に活動している。又、ツキニミーティングで定期的にコミュニケーションをとられている。

・研修の結果を本市にどのように反映させるか

今回、両市議会に出向き、議会改革のそれぞれの手法を学び、しかも積極的に取り組まれていることを感じました。それぞれの議会において取り組みを通じて議会議員の資質向上につながっているように思います。

本市でも、市民との交流において、広報公聴委員会に委ねているが、どちらかというと議会全員で取り組むことが先ず必要かなとおもいます。

そして、若者に興味がわくように議会としてSNS利用の勉強も必要だと思います。主権者教育を焦点に、中高生を対象にして、これからの長浜市を考えることが大事だと思います。国連は、若者の定義は15歳から24歳までとしていることから、我々のような年代では把握しきれないことを調査することから始めてはどうかと思います。又、若者の情報収集はインターネットからが70%、28%がテレビ、2%が新聞、書籍から知識を得ることが言われています。このことから、議会の対応も考えることが必要だと思います。